



会津北嶺だより

夏の甲子園県大会 会津初のベスト4!!



地元
に夢を
与えた
北嶺球児!!

学校行事や部活動、資格取得や進路活動など今年も各方面で北嶺生が大活躍!!



富山君ロッチェ入団



カナダ海外研修



● 野球部

全国高等学校野球選手権
福島県大会 準決勝進出!!

● 特設ボクシング部

全国大会フライ級 第5位入賞!!

● 今年も各部で好成績続く

● 4年ぶり開催の北嶺祭も大成功



県大会出場続々

北 嶺 ス ポ ー ツ 新 聞

会津北嶺 夏の奇跡

北嶺スポーツ

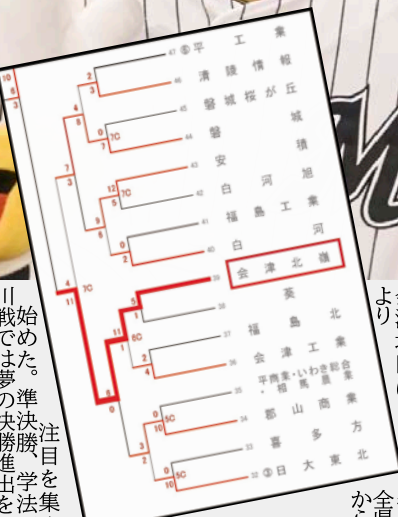
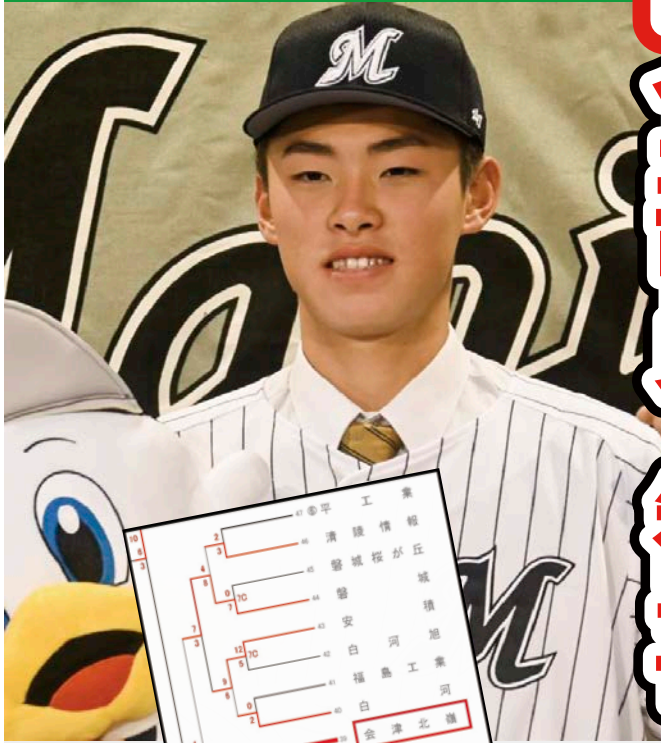
創部6年で夏の甲子園県ベスト4

富山 紘之進

千葉ロッテマリーンズ

全部員が歓喜

指名獲得



川戦では、準決勝に進出した。夏の甲子園県ベスト4に輝いた。会津北嶺高校野球部は、多くの県民に勇気を与えたことだろう。

注目を集めた。夏の甲子園県ベスト4に輝いた。会津北嶺高校野球部は、多くの県民に勇気を与えたことだろう。

会津地方全体が熱狂した。夏の甲子園県ベスト4に輝いた。会津北嶺高校野球部は、多くの県民に勇気を与えたことだろう。

4回戦制し4強

新人トレで歴代新記録
富山選手は、早くもチームに合流し、新人合同自主トレでプロ野球選手生活の第一歩を始めている。持久力を計測するテスト(ヨロイテスト)では、これまでの球団最高記録が24.0メートルであったところ、歴代最高の31.60メートルをマークし、自慢の体力配下を目指すため、体づくりを第一の目標にしている。



2年生から正捕手に
ひと夏の夢に歓喜した会津北嶺高校野球部は、さらなる目標を無二だ。10月27日に行われたNPBドラフト会議にて、会津北嶺高校野球部の富山紘之進選手が育成枠5位で指名されたのだ。会津地区出身の高卒プロは、55年ぶり。選出されたのは、同選手は選抜から初プロである。元は、本日から本校には通っていない。3年間自らを律して厳しい練習に耐え抜きた。2年時から正捕手になった。篠原監督をはじめとする、コーチ陣が親代わりとなり、この3年間を乗り越えることかいた支えがあったこととができた。本人は語って、入団会見では、新天地で活躍すること、高天校時代を過ごした会津へ、そして18年間で育ててくれた両親への「恩返し」を誓った。

SNSで情報発信中!



会津北嶺チャンネル

今すぐ検索を!! 会津北嶺 Youtube 🔍 検索

登録受付中

北嶺祭 2023

～実行委員インタビュー～



写真左から
副実行委員長 2A 中島 妃香(若松一中)
実行委員長 2A 高橋 柊音(喜多方三中)
実行委員 1A 船田 雪華(若松一中)

とんでもない1日だった——これは参加した全員の感想ではなかったらうか。昨年12月に開催された4年ぶりの文化祭「北嶺祭」は限定開催とはいえ、実行委員の綿密な計画や見事な進行、趣向を凝らした有志発表によって大成功を収め、本校の100周年に相応しい行事となった。生徒主体で行われた奇跡のイベントを支えた3名を招き、今の思いを聞いた——

どのような思いで実行委員を務めましたか？ 高橋：コロナの影響で1年前に延期されていたので今度こそ必ず実現したいという思いで取り組みました。最も意識したのが卒業生される先輩方にとっての「高校時代の最後で最高の思い出づくりにしたい」という事でした。中島：初期の実行委員の話し合いでその話題が出て、行事全体の方向性が決まったと思います。高橋：ただ、北嶺全体で楽しめなければ最高の思い出にならないという事で、全校生が楽しめる企画を検討しました。船田：全体的な企画のアイデアを出して下さったのは妃香先輩でした。指示役は基本的に会長が務め、私達はそれを信じて行動するという感じでした。

実行委員の連携はうまくいきましたか？ 高橋：30名近くの実行委員のまとめ方にはやはり苦労しました。行事への思い入れが強い分、それぞれ意見がありましたから。船田：お互いの連絡は実行委員専用のlineを作って常に全員で情報共有していました。報告や指示などもそこで行ってました。

開会式の動画も素晴らしい出来でしたね？ 船田：あれも妃香先輩の発案だったと思います。中島：普段YouTubeやTikTokで回ってくる他県の学校の動画が格好いいなど思っていたので挑戦しました。撮影は実行委員みんなで協力して1か月以上かけました。皆さんに喜んで頂けて良かったです。高橋：役者のように演技が上手かったり、NG続きの子がいたり個性적이었지만楽しんで撮影しました。

スマホとQRコードを使った行事も驚かされました。 高橋：スマホについては思い出にステージ発表の動画や写真を撮りたいという声が多かったので特別に行事中の利用を許可して頂きました。中島：利用できるならスマホを行事に利用しようと考え、スマホとQRコードを使った謎解きイベントを思い付きました。船田：生徒だけでなく先生方も参加して楽しんで頂ける動きのある行事にしたかったのでとても良いアイデアだったと思います。

北嶺祭当日はどんな思いでしたか？ 高橋：開会式の実行委員長長の挨拶で全校生の前に立った瞬間、「俺達すごい事したんだな……」と胸に来るものがありました。中島：特に午後ステージで行われた有志発表の会場の一体感がすごかったです。想像を超える盛り上がりで、頑張ってきた甲斐があったと思いました。スマホのライトを使って歌い手を応援している様子もとても綺麗で感動しました。船田：いろんな人の笑顔が見られたのはやっぱり幸せで達成感がありました。みんなが同じ方向を向いているという感じがして、本当に笑顔であふれていました。高橋：何より全校のみんなが楽しんでくれて良かったという気持ちが大きかったです。ほっとしました。

行事を終えてしばらく経ちました。今の感想は？ 中島：正直、あそこまで完成度の高い行事を本当に自分達がやったのかな？とふわふわした夢のような感覚になっていますが、青春にコロナ禍の影響をぶつけられた私達だからこそ、物事に全力になる事がこんなに素敵なんだというのを示せて嬉しかったです。船田：私は、「誇り」でしょうか。自分は北嶺生なんだという誇りのようなものが芽生えました。あの雰囲気を作ったのは自分達なんだって。「北嶺に入って良かった」と語ってくれた友人もいました。高橋：何というか、「可能性」を見た気がしています。北嶺生の秘めた可能性を感じたというか、自信になりました。

最後に一言ずつお願いします。 船田：行事の成功はみんなの協力があったからこそです。最高に感動しました。中島：後日談になりますが教頭先生が「今までで一番良い文化祭だった。ありがとう」と仰って下さった時には涙が出そうでした。このような機会を頂いた事に感謝したいです。高橋：クイズや謎解き企画、歌にダンスにボイバにコスプレと、どの出し物も皆さんが楽しんで参加して下さいのおかげで、自画自賛になって少し恥ずかしいですが、本校の歴史に刻まれるような素晴らしい行事にできたと思います。ご協力頂いた皆さん、本当にありがとうございました。



合格・内定者の声

信念を大事にしたい



三年A組 遠藤 啓悟 (若松一中)

国際基督教大学 教養学部 合格

入学当初の私にとってICUは志望大学の候補に入っていなかった。しかし二年時にシンガポールの短期留学に参加した事がきっかけで自身の関心が世界情勢や政治・宗教等に向かっていると感ずるようになり、国際色豊かで総合型の教育を行っているICUでなら、そうした学習や研究を専門的に行えると考え、受験を決意した。



三年A組 菅 修希 (若松四中)

会津大学 コンピュータ理工学部 合格

大学への進学を意識して、私は高校一年の頃から地元にある塾に通ってきた。最初は受験にあまり現実味がなく、まだまだ先の事だと軽くみていたが、一学年の後半に入ると次第に焦りを感じ始め、真剣に過去の対策に取り組むようになった。その後二学年に進級すると高校での受験対策が本格化し、塾と個人の勉強に加え、教科を担当されている先生に直接指導して頂く機会が増えていった。

面接練習と共に受験対策として取り組んだのがキリスト教や世界情勢、政治問題等の知識の修得、そして英語力の強化だった。レポート課題や小論文試験の為、関連資料を読み、新聞やネットで情報を集めた。英語学習では教科担当の先生方に何度もご指導を頂いた。

こうして十分な対策を行った上で臨んだ本番だったが、さすがに当日は緊張した。気合を入れる為、キャンパスに入った瞬間に「必ずここに入学してやる!」と心の中で叫んだのを覚えている。

合格を知った時は目の前で起きていたと信じられない程、嬉しかった。今思うと、本当にあつたという間の受験期間、そして三年間だった。支えて下さった先生方に、心から感謝したい。

また大学でも自分の信念を大事にし、一つ一つの瞬間を大切にしながら行動して成長に繋げていきたい。

志望校合格を叶える事ができた今、改めて受験勉強を振り返り、最も役立ったと思うのが、先生に用意頂いた入試の予想問題を解き、全体の採点と解説をして頂いた上で、自宅で復習を行う動きを繰り返した事だ。おかげで自分がどこをどう間違え、いかに解けば良かったのかを冷静に分析できて、非常に有難かった。

私には夢がある。それを実現できる力を得る為にどうすれば良いかを考えた時、会津大学への進学が理想的だった。合格に向けたハードルは高いものの、乗り越えられない程ではないと考えていた私だったが、受験に臨むのが私一人だったら、ここまで努力する事はできなかった。私を導いてくれた先生方や仲間達、周りの皆さんに心から感謝したいと思います。

この次は指導者として



三年C組 辻川 知哉 (小岩第二中)

駿河台大学 法学部 合格

幼い頃から野球に励んできた私は甲子園出場の夢を胸に、本校に入學した。卒業後の進路として、最初は自衛隊を希望していたが、遠征先で目にした大学野球のレベルの高さに感動した事をきっかけに大学進学を目指すようになった。

志望校を駿河台大学の法学部に決めたのは、野球部が東京新大学の一部リーグに昇格したばかりで勢いがある事と、公務員や教員等、幅広い進路を選択できるからだ。



三年A組 佐原 心 (会北中)

玉川大学 文学部 合格

何事にも頑張る姿勢で

高校一年の頃から教員になることを志望していた私は、教育面で優れた実績を持つ大学への進学を検討した結果、玉川大学の受験を決めた。教育者が創立した大学ということもあり国内で特に教員養成に力を入れている大学だからだ。

推薦入試に向けてはまず普段の定期テストで良い成績を取られるよう努め、資格試験でも英検をはじめ様々な資格に挑戦してきた。結果的に英検一級や漢検準二級に合格できた事で自分もやればできるといえるようになった。

今までの野球経験を生かす為、面接と実技試験を行うスポーツ推薦で受験する事を決めた。野球部やボランティア活動を通じて多くの社会人の方と接してきたので、面接で苦労する事は無いと思っていたが、面接官役の先生が目の前に座ると思わず言葉に詰まってしまった。そこで放課後、先生方に相手になって頂き、何度も練習を行って本番に備えた。

また実技試験に向けては、野球部の先生や指導者の皆さんに様々な助言を頂きながら対策を行った。

こうして合格する事ができた今、支えて下さった皆さんには感謝してもしきれない思いがある。私は高校野球が大好きだ。今度は大学で教員免許を取り、指導者として本校に戻りたいと思う。

これまで三年間、本当にお世話になりました。

成績や資格以外では学級委員長も務めさせて頂き、毎日の号令や学校行事に向けたクラス議事のまとめ役等を担当した。もちろんそこまで重いプレッシャーがあつた訳ではないが、将来教員を目指す上で集団をまとめる良い経験になったと思う。

試験が近付くと面接対策のため多くの先生方にご協力頂いて、どんな質問が来てもきちんと答えられるように何度も練習を行った。大学に提出する志望動機書等の作成では記述内容の検討を繰り返し行い、長所をうまくアピールできるように工夫した。その結果、受験当日に練習の成果を出し無事合格することができた。

こうして受験を終え、今は新生活の準備や高校の学習内容の復習を行っている。春からの大学生活では教員を目指すのももちろん、都会で生活する中で多くの人々と交流し、将来社会に出る上で必要な経験を積んでいきたい。

資格取得者数

2024年2月現在

実用英語技能検定(英検) 2666名	38名
日本漢字能力検定(漢検) 266名	4名
実用数学技能検定(数検) 2名	89名
危険物取扱者乙種 1名	90名
リスニング英語検定(全工協)	13名
計算技術検定 38名	5名
計算技術検定(全工協) 4名	5名
基礎製図検定(全工協) 89名	5名
日検スピード認定検定 90名	5名
日検情報処理検定 13名	5名
日検プレゼンテーション作成検定 5名	5名
ガス溶接技能講習 66名	66名
アーク溶接特別教育 66名	36名
全国高等学校家庭科技術検定 36名	30名
研削砥石(自由)特別教育 30名	34名
刈払機取扱作業者安全衛生教育 34名	34名
P検アプリ検定ワープロ 160名	160名
P検アプリ検定表計算 135名	135名
P検タイピング検定 102名	102名
三級自動車整備士 6名	6名

※昨年度卒業生の取得者数



長所を武器に挑んだ入試

東日本旅客鉄道株式会社 内定



三年D組 宮本 颯太 (環市三国丘中)

就職に向けた努力と... 就職に向けた努力と... 就職に向けた努力と...

みんなに支えられた就活

武州製薬株式会社 内定



三年B組 田中 優衣 (若松六中)

この度、志望する武州製薬株式... この度、志望する武州製薬株式...

何事にも努力する姿勢で

トヨタ自動車株式会社 内定



三年D組 滝澤 龍翔 (高田中)

私が入学した頃の成績はクラスの... 私が入学した頃の成績はクラスの...

資格所得者の声

資格取得が自信に

全国ジュニアマイスター 日産自動車株式会社 内定



三年D組 瓜生 蒼空 (二箕中)

本校に入学した頃の私は将来の進... 本校に入学した頃の私は将来の進...

2023年度(令和5年度)進路決定状況(コース別) 2月上旬現在

○ 普通科 特別進学コース

Table with 2 columns: Destination, Count. Rows include National/Private Universities, Short-term Universities, Vocational Schools, Public Employees, etc.

○ 普通科 総合進学コース

Table with 2 columns: Destination, Count. Rows include National/Private Universities, Short-term Universities, Vocational Schools, Public Employees, etc.

○ 機械科 自動車コース

Table with 2 columns: Destination, Count. Rows include National/Private Universities, Short-term Universities, Vocational Schools, Public Employees, etc.

一年間を振り返って

感動と達成感の一年間



二年A組 中島 妃香 (若松一中)

「二次試験突破、おめでとう」「日本に戻りたくない」「伝説の文化祭にしよう」……

走馬灯のように流れる瞬間がいくつもあり、強い感動や達成感に包まれ続けた一年だった。ただその一方、大いなる光に大いなる影が伴うとはこの事かと思う程、これらの感情にたどり着くまでに多くの努力が必要だった。正直、一時期は全校が一番多忙だったといつて過言ではなかったと思う。

中でも二学期が特別だった。英語検定二級の受験、カナダへの海外研修、五年ぶりに開催された文化祭「北嶺祭」の企画運営……、これらを同時に進め、どれも満足ゆく結果を残せたのは奇跡的だ。

学習面では英語に力を入れようと決め、書くだけでなく話す事も意識して、毎日のように英語科の先生に指導して頂いたり、自宅で英語が得意な母に会話のコツを教えて貰った。母に二級の合格を伝えられた時は、本当に良かったという思いで一杯だった。さらにそのまま翌日がカナダへ向かう日だったので、検定で得た英語力の上に新しい知識を加える事もでき、楽しすぎて帰国が惜しい程だった。

学習以外では、何と言っても本校でコロナ後初となる文化祭を執行できた事が嬉しかった。所属する生徒会役員の力を合わせ、先生方のお力をあまりお借りする事なく最後まで実行できた。

連日のように放課後夜遅くまで残って企画の準備を進めた為、体力的に無理をした所もあったが、閉会式を無事に終えた時に会場の体育館が歓声に包まれた瞬間、心からやつて良かったという最高の気分になる事ができた。本当に濃密な時間を過ごせた一年間だった。一言で表すなら、「一生懸命はカッコ良い」、これに尽きる最高の年だった。



積極的な行動がプラスに



二年B組 佐藤 花音 (若松四中)

私はこの一年間で頑張った事が二つある。一つがボランティア活動だ。いくつかの行事に参加したが、中でも貴重な経験をしたのが町の公民館で開催された、小学生対象のクッキング教室の手伝いだ。

参加者が幼い小学生という事で、包丁の使い方や野菜の切り方を分かり易く教えるように心がけ、どう表現すれば伝わるかをずっと考えながら行動した。こちらから積極的に

交流していると、子ども達も自然に笑顔になり、いつの間にか私も笑いながら教えていた。最後に作った料理を全員で食べ、笑顔の中で活動を終える事ができた。相手に教える難しさや、一緒に物事に取り組む楽しさを味わう事ができて良い体験になった。もう一つが、ガス溶接試験だ。建設関係の仕事に就いている父の関係で、溶接という言葉は何度か耳にした事があつたので、先生のお誘いを頂いた時に良い機会だと考えて受験を決めた。

講習会では今まで人生で全く聞いた事のない専門用語の数々を必死に覚え、実技試験も緊張しながら先生に教えて頂いた通り作業を行って、無事合格する事ができた。

積極的な行動が良い結果に繋がった一年だったので、四月からの三学年でも、自分から進んでチャレンジしていこうと思う。

苦手科目の克服が自信に



一年B組 五十嵐 功 (若松一中)

中学時代に私は勉強にあまり力を入れず、部活動も柔道部に所属したものの途中で辞め、中途半端に終わってしまった。そうした過去を後悔していた私は、高校で同じような生活態度を続けては駄目だと考え、さらに母親にこれ以上の迷惑をかけたくないとも考えて心を入れ替え、まずは普段の授業を大切にしようという行動を改めた。

具体的には後で復習しやすいように授業中、先生の話を聞いている時のノートの取り方を工夫した。初めは慣れなかったが、授業の内容を理解していくにつれて効率良くノートをまとめることができるようになった。そのおかげもあつて、私は一番の

苦手科目が英語にもかかわらず英語検定四級に合格し、勉強に対するモチベーションを上げることができた。その後も引き続き勉強に取り組んだ所、先日行われた三度目の英語検定で三級の一次試験に合格できた。そこで英語科の先生に直接指導頂いて二次試験のスピーキングテストに挑み、今はその合格発表を待っている所だ。

今後は高校三年までに英語検定準二級に合格することを目標に、さらに英語力を高めていきたい。担任の先生からもこのまま成績を上げていけば幅広い進路選択ができるようになると言われ、とても刺激になった。

夏休みに行われた学習合宿で五色沼の散策や英単語のかるた大会、野外炊飯などを行って二日間楽しんだように、高校ではたくさん行事が行われる。これからも修学旅行をはじめ多くの学校行事があるので学習だけでなく行事を通じて仲間との思い出づくりを進め、より良い三年間にしたい。

今度は頼れる先輩に



一年A組 船田 雪華 (若松一中)

高校に入学してもうすぐ一年が経つ。今はもう一年かという思いと、一年間それなりに頑張れたかなという思いの両方だ。

入学してすぐの私はとても緊張していた。同じ中学校から入学した子も何人かいたが、大半は会ったのが初めてだったので、どんな性格かわからず、いつも相手の様子を探るような視線を送っていたように思う。何だか真面目すぎて関わり辛そうな子ばかりのクラスだなと感じていたのは、思えばお互いにそうした視線を

送り合っていたせいだろう。その緊張関係も長くは続かず、数週間も経たないうちにリラックスして過ごせるようになっていった。長くなってしまふので割愛するが、ある共通の話題で盛り上がり、みんなと一緒に大笑いしたのが打ち解けたきっかけだったと思う。

コロナ禍の制限が解除されたおかげで球技大会や遠足などの学校行事が予定通り開催されたが、やはり一番思い出深いのが年末に開催された北嶺祭だ。生徒会で執行委員を務めている私も運営スタッフとして参加した。もうすぐ卒業される先輩方の最後の行事になると聞いて私なりに頑張ったつもりだ。多くの実行委員が同時に動いていたため、一時は連携ミスなどもあつて苦労したが、当日はその疲れを忘れるほど楽しむことができ、会場も笑顔であふれていた。

楽しみ以外で言うと今回の経験を通過して先輩や周りの仲間と交流する際の良い距離感の取り方を覚えられたと思う。実行委員を務められて本当に良かった。

行事だけでなく学習にも力を入れた一年間だった。卒業後に大学の経済学部へ進学したいと考えている私は、その目標に近づくため定期テスト前に試験までの日数を数えて計画を立て、できるだけ集中が続くように工夫しながら勉強を進めた。その結果、中学時代にはなかなか難しかったクラス上位になる事もできた。あと先日受験した英検準二級のように機会があれば資格試験にも前向きに挑戦するつもりだ。四月から今度は私達一学年が先輩として新入生を迎える事になる。きつと「先輩1怖い」というイメージがあると思うので、気軽に話しかけやすい先輩になれるよう無理のない形で交流し、今まで以上に交流の幅を広げられるような一年間にしていきたい。

部活動の声

次は頼れる先輩に

自動車部 一年C組

齋藤 桜良 (若松四中)

自動車部では五月に鶴ヶ城公園で開催された「子どもまつり」のソーラーカーの展示や本校機械科のオーブンスクールのスタッフ等、様々な活動を行ってきたが、今年度の自動車部の活動の中で最も印象に残ったのが、昨年十月に栃木県のサーキット「モビリティリゾートもてぎ」で開催された耐久レース「2023Energy I MOTEGI GP」への出場だった。

出場マシンの製作は約十名の部員全員でおおよそ半年かけて行った。大会が近づくにつれて、本番に間に合わないのではないかとという不安が増し、作業にますます熱がこもっていた。

私も製作の終盤に、完成したフレームをボディに繋げる重要な役割を担当させてもらった。ミスをするとなイヤがうまく回らなくなってしまう重要な部分だったのでプレッシャーがあったが、三人の仲間と協力してやり遂げる事ができた。

大会前日の昼頃に会津若松市を出発し、栃木県で夜七時頃からマシンの調整を行った。当日には朝五時に宿舎を出発、会場で最終点検を行った。レース開始は昼過ぎで、二十三のチームがエントリーしていた。走行開始。スタートも良く、二周を終えた時点で四位。これは良い展開だ……そう思った瞬間、マシンが突然走行を止めてしまった。モータートラブルだった。三周目の、無念のリタイア。あれだけ頑張ったのに、本当に悔しかった。

後日、大会を振り返りながら部

員のみんなと一緒に食べた焼肉の味が忘れられない。みんなで「次だな」と言い交わしながら口にする、特別な味がした。春からは新入部員を迎え、今度は自分が先輩として迎える番になる。良き先輩として後輩達を支えたい。



吹奏楽部から応援団に

応援団 一年A組

下平 結愛 (若松三中)

私達応援団の主な活動は、春から秋にかけて行われる野球部の公式戦での演奏だ。小、中学校と吹奏楽部の部員として活動してきた私は、高校でも音楽関係の部で活動したいと考え、応援団への入部を決めた。

だが一度入部してみると、吹奏楽と応援の為の音楽は全く異なり、その感覚の違いをつかめずに苦労する事になった。吹奏楽は細かな表現に重きを置くが、応援はどれだけ相手に音を届けられるか、球場内でどれだけ仲間を鼓舞できるかが重要になる。演奏時間は何倍も長く、演奏

場所も快適な屋内ではない。炎天下であったり、小雨が降ってきたり、時には風で楽譜が飛ばされてしまったりもする。

そうした厳しい状況の中でも活動を続けようと思えるのは、自分達が応援した試合に勝利した時の、あの瞬間の気持ち忘れられないからだ。それはそれは嬉しい。少しでも野球部の皆さんの力になれたらと思う。

応援団に入り、人を応援する楽しさや嬉しさ、素晴らしさを知る事ができた。今では応援団の仲間との深い絆もある。これからも頑張るみんなに力強い応援を送り続けたい。



念願の県大会出場

バドミントン部 二年B組

佐藤 梨央 (一箕中)

私達バドミントン部はあまり人数ではないものの、一人一人目標を持って日々の練習に励んでいる。お互いに教え合い、男女や学年関係な

く、協力しながらとても良い雰囲気の中で活動中だ。

昨年十一月に開催された新人戦地区大会の女子学校対抗戦では、大会前日に不運にも部員の一人が体調を崩してしまった。対抗戦には最低五名の参加が必要なので、それでは出場できない。棄権する他ないかとみんなで話し合っていると、その様子を見た他の部活の友人が助っ人としての参加を申し出てくれた。本当に有難かった。

そして何とか迎えた大会当日。対抗戦はリーグ戦総当たり方式で行われた為、会場にいる全高校と対戦する形になった。どの学校も強豪ばかりで一点、一ゲームを争う接戦ばかりだったが、不慣れたバドミントンに臨んでくれている友人の為に部員の私達が結果を出そうと、全力で試合に臨んだ。そして仲間達の力強い応援を受けながら懸命に戦った結果、私達は準優勝を果たし、念願の県大会出場を叶える事ができた。

高校からバドミントンを始めた私にとって県大会出場は一番の目標だった。それを個人戦ではなく、チームとして勝ち取れた事が嬉しく、頑張ってくれた後輩達への感謝の思いで一杯だった。

残り半年程で私達の学年は部活動の引退を迎える事になる。練習できる日も少しずつ限られてくるが、最後の最後まで一生懸命取り組み、今度は男女全員で県大会に出場を果たしたい。

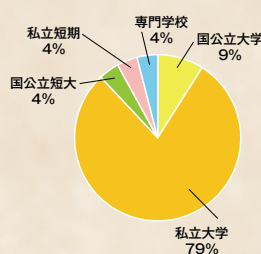


2023年度(令和5年度)進路決定状況(2月上旬現在)

特別進学コース概要

	希望者	決定者	割合
国公立大学	2	2	9%
私立大学	18	18	79%
国公立短大	1	1	4%
私立短大	1	1	4%
専門学校	1	1	4%
合計	23	23	100%

進路決定割合



主な指定校推薦の入試実績

- 国際基督教大学
- 青山学院大学
- 桜美林大学
- 東北学院大学
- 宮城学院女子大学
- 尚絅学院大学
- 敬和学園大学
- 聖学院大学
- 山梨英和大学
- 大阪学院大学
- 広島学院大学
- 平安女学院大学
- 桃山学院大学
- 西南学院大学
- 東洋英和女学院大学
- 長崎外国語大学
- 活水女子大学
- 稚内北星学園大学
- 聖隷クリストファー大学
- 沖縄キリスト教学院大学
- 三育学院大学 等

- 星槎道都大学
- 江戸川大学
- 八戸工業大学
- 秀明大学
- 麻布大学
- 文京学院大学

- 日本大学
- 東海大学
- 帝京大学
- 神奈川大学
- 玉川大学
- 福島学院大学
- 奥羽大学
- 東京電機大学
- 城西大学
- 東北工業大学
- 医療創生大学
- 仙台白百合女子大学
- 新潟薬科大学
- 日本工業大学
- 城西国際大学
- 東京福祉大学
- 文星芸術大学
- 多摩大学
- 東北文化学園大学
- 埼玉工業大学
- 作新学院大学
- 新潟産業大学
- 日本薬科大学
- 東北薬科大学
- 長岡大学
- 石巻専修大学
- 関東学院大学
- 東京工芸大学
- 千葉科学大学
- 郡山女子大学
- 宇都宮共和大学
- 新潟リハビリテーション大学
- 静岡産業大学
- 金城学院大学
- 湘南工科大学
- 北翔大学
- ノースアジア大学
- ものづくり大学
- 中部学院大学
- 和光大学
- 愛知工業大学
- 北海道科学大学
- 日本経済大学
- 足利大学 等多数

2023年度 部活動&同好会 活動実績(一部抜粋)

野球部

- ・(大会実績)
- ・第七十四回 秋季東北地区高等学校野球福島県大会 会津支部予選 優勝
- ・本選(県大会) ベスト16
- ・第四十五回 秋季全会津高等学校野球選手権大会 優勝
- ・第七十五回 春季東北地区高等学校野球福島県大会 会津支部予選 準優勝
- ・第七十五回 春季東北地区高等学校野球福島県大会 ベスト8
- ・第六十四回 春季全会津高等学校野球選手権大会 準優勝
- ・第一〇五回 全国高等学校野球選手権 福島大会 ベスト4
- ・第七十五回 秋季東北地区高等学校野球福島県大会 会津支部大会 準優勝
- ・第七十五回 秋季東北地区高等学校野球福島県大会 ベスト8
- ・第四十六回 秋季全会津高等学校野球選手権大会 優勝



(ポランティア実績)

- ・会津若松市除雪ボランティア
- ・猪苗代町・中ノ沢温泉こけし祭りイベント運営
- ・いわき市豪雨災害被災地ボランティア
- 1A上武勇貴(大船中)
- 1B猪俣翔瑛(一貫中)
- 1C木村大珠(歌島中)
- 2A北浦空来(石垣中)
- 3A原太一(会津北)
- 3C辻川知哉(小若第二中)
- ウオリアートフェスティバルFUKUSHIMA in猪苗代 イベント運営
- 1A上武勇貴(大船中)・倉田頼次(戸越台中)・三村朋大(香江中)
- 1B佐藤龍斗(郡山五中)・徳田竜汰(宮崎中)・山本優太(杉中)
- 1C五十嵐悠斗(若松原中)・木村大珠(歌島中)・末永光騎(雄勝中)・永井真斗(河東学園中)
- 矢内宇飛(旭中)
- 2A北浦空来(石垣中)・齋藤奏(香江中)・武島大輔(鈴ヶ森中)・永田結真(一貫中)
- 土師真心琉(新北野中)・前泊創登(西原中)
- 2B安納直人(城山中)・2C東江信一郎(嘉数中)・倉持友輝(境第二中)
- 会津美里町・高田大依引き 参加
- 1A上武勇貴(大船中)・倉田頼次(戸越台中)・三村朋大(香江中)
- 1B猪俣翔瑛(一貫中)・小林雄陽(塩川中)・佐藤龍斗(郡山五中)・徳田竜汰(宮崎中)
- 1C五十嵐悠斗(若松原中)・渡部創冬(猪苗代中)
- 山本優太(杉中)
- 永井真斗(河東学園中)・矢内宇飛(旭中)
- 会津坂下町・大俣引き 参加
- 2A北浦空来(石垣中)・齋藤奏(香江中)・高橋修音(喜多方三中)・武島大輔(鈴ヶ森中)
- 土師真心琉(新北野中)・藤井聡也(世田谷中)・前泊創登(西原中)
- 2B兼子大夢(湯川中)
- 2C秋山北斗(塩川中)・東江信一郎(嘉数中)・神林優(河東中)・倉持友輝(境第二中)
- 永井結真(河東中)・新田虎大(天理北中)

バスケットボール部

- ・第六十九回 福島県高等学校体育大会 バスケットボール競技 男子 第3位
- 会津地区 優秀選手賞 3D 安川 悠人(若松四中)

ソフトテニス部

- ・令和五年度 全会津高等学校 春季選抜ソフトテニス大会 個人戦 ベスト8
- 2C安西優斗(一貫中)・2A川口陽輝(若松一中) ベア
- ・第六十九回 福島県高等学校体育大会 ソフトテニス競技 会津地区大会 個人戦 ベスト8
- 2C安西優斗(一貫中)・2A川口陽輝(若松一中) ベア
- 団体戦 第5位
- ・第七十八回 福島県総合スポーツ大会 ソフトテニス競技 会津地区大会 個人戦 第3位
- 2C安西優斗(一貫中)・2A川口陽輝(若松一中) ベア
- ・第十九回 福島県シングルス大会 会津地区予選会 優勝 2C安西優斗(一貫中)



バドミントン部

- ・第六十九回 福島県高等学校体育大会 バドミントン競技 会津地区大会 ベスト8 1B小野里優恵(若松四中)・1B東海林りあ(若松四中) ベア
- 女子ダブルス
- ・第七十三回 全会津総合体育大会 バドミントン競技 女子ダブルス 準優勝 1B小野里優恵(若松四中)・1B東海林りあ(若松四中) ベア
- ・第六十回 福島県高等学校新人体育大会 バドミントン競技 会津地区大会 女子学校対抗戦 準優勝
- 女子ダブルス ベスト8 1B小野里優恵(若松四中)・1B東海林りあ(若松四中) ベア
- ・令和五年度 第六十回 福島県高等学校新人体育大会 バドミントン競技 女子学校対抗戦 ベスト16
- 女子ダブルス ベスト16 1B小野里優恵(若松四中)・1B東海林りあ(若松四中) ベア



特設ボクシング部

- ・第六十九回 福島県高等学校体育大会 ボクシング競技 フライ級 優勝 3C神崎烈(高田中)
- ・令和五年度 東北高等学校選抜大会 ボクシング競技 男子一部 フライ級 第3位 3C神崎烈(高田中)
- ・令和五年度 全国高等学校総合体育大会 ボクシング競技大会 第七十七回 全国高等学校ボクシング選手権大会 フライ級 第5位 3C神崎烈(高田中)

自動車部

- ・2023 Eneri MOTEIGIP inモビリティリゾートもてぎ レ이스出場
- ・第四十四回 子ども祭り ソーラーカー広場 展示・説明スタッフ
- ・若松第二地域包括支援センター主催 第三回 家族介護者交流会 クリスマスコンサート in 會津稽古堂
- ・クリスマスコンサート in 恵泉会津チャペル
- ・フルイデアふくしま フィナレプロジェクト 特別演奏 in 會津若松駅
- ・クリスマスコンサート in 小野木クリニック

ポランティア部

- ・令和五年度 会津支援学校・聴覚支援学校会津校 合同文化祭 ポランティア
- 1A小椋結月(裏磐梯中)・1A下平結愛(若松二中)
- 1A野口侑楽(裏磐梯中)・1A船田雪華(若松一中)・2B五十嵐修音(若松三中)
- 2B坂上柊(若松一中)・2B玉川夢斗(下郷中)・2B手代木稜来(若松三中)
- ・第二十一回 会津障がい者スポーツ大会 ポランティア
- 1A野口侑楽(若松一中)・1A舟木彩夏(若松一中)・1A小椋結月(裏磐梯中)
- 1A船田雪華(若松一中)・1A下平結愛(若松三中)・2A五十嵐小晴(高田中)
- 2A齋藤思瑚(一貫中)・2A齋藤奏(北会津中)・2A中島妃香(若松一中)
- 2B安部雅乃(若松四中)・2B小林陽菜(北会津中)・2B佐藤梨央(一貫中)
- 2B鈴木心奈(若松四中)・2B鈴木旭清(若松五中)
- ・東日本大震災被災地ボランティア 宮城県
- 2B遠藤寛人(一貫中)
- 3A猪俣知也(北会津中)
- ・日本キリスト教団東北教区夏季中学生・青年ワークショップ 3A初谷海天(本郷中) 十日町雪崩りキャンプ
- ・日本キリスト教団関東教区 1A小椋結月(裏磐梯中)・小野雪菜(若松三中)・小山晃(若松三中) 西間木侗深(若松三中)・野口侑楽(若松一中)
- ・令和五年度ロボコンinあいつ 参加 部門賞受賞
- 漫画アニメ同好会
- ・第三十二回 全国高等学校漫画選手権大会(まんが甲子園) 予選出場
- ・令和五年度 特撮文化推進事業実行委員会事業 特撮ワークショップ 参加
- ・会津若松市役所 庁舎建設工事 アート作品展示 2A横山美侑(若松五中)

